

平成26年度

# 坂出市防災女性チーム 活動報告書



## 内 容

1. 設置目的
2. 今年度の目標
3. 活動体制
4. 活動内容
5. 成果・課題等
6. 来年度の目標

### 1. 設置目的

災害は、地震や洪水が起こることではなく、それまで営んでいた「生活」が壊されること。日常生活、特に家庭においては女性が担っている割合が大きく、大規模な災害が昼間に起きた場合など、地域には男性が少なく、避難は女性が中心にならざるを得ない状況も想定されます。また、避難所では性差によるニーズの違いの理解不足や、避難先での安全確保、往々にして女性に炊き出しが強いられること等も課題となっています。これらに対し、女性の視点から様々な課題を検討し、防災対策を推進するため、平成26年5月、市長より任命を受け、市役所の異なる部局から集まった女性職員11名で構成する坂出市防災女性チームが活動を開始しました。

### 2. 今年度の目標

災害時、自治体職員がやるべき業務は多岐にわたり、東日本大震災の際には、職員はしばらく自宅に帰れなかったと聞きます。勤務時間中および勤務時間外の発災を問わず、災害業務を迅速に実施するためには、職員それぞれの防災意識の向上が不可欠であり、職場・家庭での日ごろの備えが重要です。

そのようなことから、初年度は、日常の一部に「防災」を無理なく取り入れ、減災に繋げていけるように、市民啓発も見据えた効果的な啓発を職員に対して行っていくことを目標にしました。

### 3. 活動体制

多くの方に親しみを持ってもらい幅広く活動していくため、坂出市防災女性チームの愛称を「さかいで<sup>ぼうさい</sup>131おとめ隊」と決めました。愛称の131には、メンバー11人が防災への取組みに心(ハート)を寄せながら活動をしていき、メンバーの中心にはいつも熱い心(ハート)がある・・・という意味が込められており、読み方は(ぼうさい)です。

また、131にちなんで1月31日を“おとめ隊の日”とし、活動を広げていくことを決定しました。

- ・愛称 「さかいで<sup>ぼうさい</sup>131おとめ隊」
- ・1月31日は「おとめ隊の日」

◇メンバー構成

NO.	担当	所属	氏名	備考
1	リーダー	教育委員会 文化振興課	谷本 秀子	
2	サブリーダー	消防本部 庶務課	山下 芳子	
3	メンバー	市民生活部 市民課	金丸 尚美	
4	〃	総務部 危機監理室	藤原 きずな	事務局
5	〃	建設経済部 建設課	屋島 量子	
6	〃	健康福祉部 かいご課	玉井 さくら	
7	〃	市立病院 看護科	綾野 優子	
8	〃	総務部 総務課	馬場 哉子	
9	〃	建設経済部 みなと課	中井 麻矢	
10	〃	総務部 税務課	高橋 千恵	
11	〃	教育委員会 生涯学習課	片山 亜美	

## 4. 活動内容

### 【平成26年度活動内容】

活動	日程	内容	備考
任命式 第1回会議	H26. 5. 9	・リーダー, サブリーダー決定 ・活動方針, 内容の統一	
第2回会議	H26. 6. 5	・坂出市の被害想定について (PPT) ・課題を使ったミニワークショップ ・愛称決定 (さかい <sup>ぼうさい</sup> で131おとめ隊)	明日, 12:00 に東日本大震災クラスの地震が来る場合, 何をするか?
第3回会議	H26. 6. 25	・香川県防災センター体験	
第4回会議	H26. 7. 14	・2班で職員啓発用の防災グッズ内容の検討	各自, 2種類: ①机の中, ②ロッカーの中の防災グッズを準備
第5回会議	H26. 7. 25	・職員への防災グッズ周知方法の検討	
第6回会議	H26. 8. 22	・職員防災研修 (10/6) の内容検討	
第7回会議	H26. 9. 26	・職員防災研修 (10/6) の内容決定	
市長報告	H26. 10. 1	・中間活動報告	
職員防災研修	H26. 10. 6	・職員啓発 「災害に備えて」	出席者 37名
第8回会議	H26. 11. 19	・職員防災研修 (12/19) の内容検討	
第9回会議	H26. 12. 2	・職員防災研修 (12/19) の内容検討	
第10回会議	H26. 12. 15	・職員防災研修 (12/19) の内容確認	
職員防災研修 (女性職員)	H26. 12. 19	・職員啓発 「女性とBOSAI」	出席者 57名
SAKAIDE 防災 フェスタ	H27. 1. 31	・市民啓発 「親子でソ・ナ・エようかい!」	参加者 64名 (親子 24組)
市長報告	H27. 3. 5	・平成 26 年度活動報告	

## 【会議の様子】

### ◇ミニワークショップ



### ◇香川県防災センター



### ◇防災グッズの検討



### ◇防災研修の様子



防災に初めて取り組むメンバーもいる中、「明日、12:00に東日本大震災クラスの地震が来る場合、何を準備するか？」を課題としたミニワークショップの実施、香川県防災センターの体験を通じ、備えの重要性を改めて再認識し、実際に各自防災グッズを準備しました。

水、食料など最低限必要なものは共通するものの、コンタクトの人はメガネが必須であることなど自身の事情や、担当する災害業務によって必要なものをプラス  $\alpha$  で備える必要があることなど、実際に準備し、話し合う事を通じてたくさんの発見がありました。

また、防災について学んでいく中、東日本大震災の際の身体的・精神的に女性が抱えた悩みや苦勞、そしてあまり語られていない被災地での性被害について、職員であると同時に、女性であり、子どもを持つ母親であり、家庭を担う主婦でもある女性職員だからこそ知ってほしい現実を広く発信し啓発していく必要性を痛感しました。

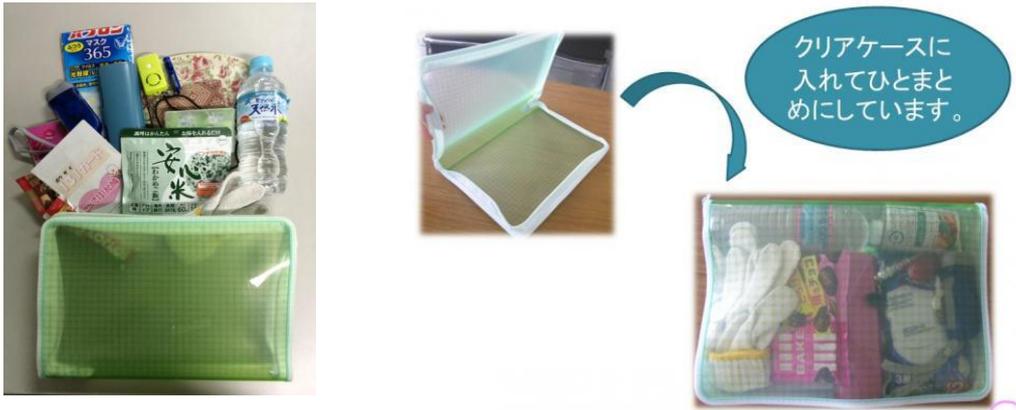
活動を通じて、気付いたこと、準備したこと、そして知り得たこと等を職員と情報共有し、災害対応にあたって、知ってほしい備えについて再認識することで、職員各自の自主的な備えに繋げてほしいという思いから、職員防災研修と女性職員対象の防災研修を開催し、取り入れやすい職場での備えの方法を提案しました。

**【提 案】**

**職場のプライベートスペース（机の中・ロッカー）を活用して 職場でも備えを**

**○ 身近に備えておきたいもの（机の中）**

最低限必要なものをA4サイズのクリアケースにひとまとめにし、自分の机の引き出しに入れておきます。身近にあるため、食べた分補充するローリングストック法を取り入れやすく、必要な時にすぐ取り出せる利点があります。



**○ 職場に備えておきたいもの（ロッカー等）**

多めの水・食料、着替え等かさばる物を備えておきます。必要なものを分類してわかりやすく提案しました。



**ぼうさい 131カード**

身近に備えておきたいもの、職場に備えておきたいもの、家族・上司などの連絡先や職員の参集基準の一覧、そして防災グッズのチェックリストなど必要な情報を1枚にまとめた便利な131（ぼうさい）カードを作成しました。もっと使いやすく便利にするため引き続き、改良中です。



## ○ 防災ベスト

メンバーが考案した防災ベストは、参集スタイルの一例として紹介しました。災害発生時、すぐに着て素早く参集でき、保管場所を取らないうえ、必要な防災グッズが多く収納できる(43品目)ため、多くの職員から参考にしたいとの声がありました。

(前からの図)



(後ろからの図)



### 職員研修後のアンケートの一例

- ・防災は楽しんでできるものだと意識が変わった。
- ・日ごろから少しずつ用意していけるので、軽い気持ちで始めてみようと思った。
- ・女性だから、職員だから何が必要かということは考えたことがなく、すごく勉強になった。
- ・防災は、地味なイメージだったけど、かわいいグッズなどを探したら楽しいかなと少し変わった。
- ・防災グッズというと敷居が高い気がしていたが、日常使っているものでも、十分活用できることが分かった。
- ・自分だけでなく家族にもホイッスルなどを持ってもらうようにしたい。
- ・全部を一度に揃えるのではなく、一つずつでも目にとまったものを揃えたい。

### アンケート結果から

今後の活動の励みとなるようなうれしい言葉がたくさん書かれており、研修内容の5段階評価は、全員から「とてもよかった」をいただきました。何より研修の成果として実感できたのは、実際に防災グッズを見せながら、その必要性を説明するなど従来の防災研修とは違ったスタイルが功を奏したのか「防災」に興味を持つきっかけとなり、自主的に防災対策をしようという感想や、意識が変わったという感想が多く寄せられたことです。

## 「SAKAIDE 防災フェスタ」

1月31日はおとめ隊の日。

親子で楽しく学ぼうをテーマに掲げ、坂出市婦人団体連絡協議会、坂出市赤十字奉仕団、坂出市女性消防団員「チームコスモス」と協力し、様々な防災イベントを実施する『SAKAIDE 防災フェスタ』を開催しました。

### 「親子でソ・ナ・エようかい！」

さかいで<sup>ぼうさい</sup>131おとめ隊とチームコスモスは、親子を対象とした体験型の防災イベントを実施しました。

- ・日 時：平成27年1月31日（土） 午前9時30分～午前11時
- ・場 所：市民ふれあい会館 4階
- ・内 容：
  - ・坂出市女性消防団員 チームコスモスによる ぼうさい体操第1
  - ・〈保護者〉坂出市の被害想定 〈子供〉新聞紙スリッパ作り
  - ・防災クイズ
  - ・親子でリュックの中身（持出品）を考えよう
  - ・防災ベストの紹介
  - ・悪路体験：障害物（人工芝）の上を歩いてみよう市民美術館へ移動後、炊出し体験と試食（おにぎり、すいとん）

◇「親子でソ・ナ・エようかい！」の様子



防災体操第1♪

新聞紙スリッパ作り

親子で身を守る ダングムシのポーズ



防災グッズクイズ

何を備えておけばいいか考えてみよう

炊き出しのおにぎりすいとん おいしい

楽しめる内容であれば、参加者が防災に興味を持つ絶好の機会になるため、イベントの構成を練り、結果、親子の笑顔がたくさん見られた楽しいイベントとなりました。

また、女性団体である坂出市婦人団体連絡協議会、坂出市赤十字奉仕団、坂出市女性消防団員「チームコスモス」と協力開催したことにより、組織間の連携を深め、131おとめ隊の今後の活動の大きな収穫となりました。

## 四国霊場88サイクル駅伝に参加

テーマの一つである『東日本大震災の復興祈願と被災者の方々の四国霊場巡礼の代参の実現』のため、メンバー5人で協力し完走しました。

(第79番天皇寺～第80番国分寺)



## 5. 成果・課題等

活動を通じて、防災を自分のこととして考えるようになり、仕事の場だけでなく、家庭においても日頃から防災を考えるような変化がありました。職員研修を2回開催、市民向けイベントを1回開催したことで、職員、市民はもちろん131おとめ隊自身にも“備え”に対する意識付けができたと思います。防災は特別なことではなく、日常の中で少し意識するだけで、防災力は確実に高まると実感でき、防災意識のボトムアップが図れたと思います。

また、研修を主催し、大勢の前でプレゼンできたことは、通常業務において体験ができないことであり、会議の進め方や研修の組み立て方など業務的にも参考になることが多く、今まで接点のなかった職員の方と議論し、関係を深められたことで今後の業務においても役に立っていくことと思います。

そして、防災研修のパッケージ（パワーポイント、原稿等）および131（ぼうさい）カードを作成したことにより、それらをベースとした研修の素地ができ、メンバーが変わっても発信したいことが的確に伝えられる仕組みづくりができたと思います。

ただし、今後も効果的な活動を持続するためには、活動が負担にならないよう目標および年間計画の明確化を図る必要があります。

## 6. 来年度の目標

「日常に防災を取り入れる」ことを楽しく伝えられるのは、おとめ隊だからこそできる活動だと思います。来年度以降も継続して職員や市民対し啓発活動を計画的に行っていき、防災意識の向上を図るとともに、坂出市の災害業務体制の見直しも視野に入れて、過去の災害からみえてきた問題等を調査・検討していきたいと考えています。

- ・職員・市民への効果的な啓発活動
- ・131カードの充実・配布 等